

八幡地区

# 社協だより

第 32 号

令和4年2月28日

八幡地区社会福祉協議会



みなさんは広瀬川でカワセミ（川蝉・翡翠）を目撃したことがありますか。角五郎界隈の広瀬川にもカワセミが棲んでいます。カワセミは、一定の休息場と採食場を持って、定まった時間で活動するようです。鮮やかなコバルトブルーの羽と大きな嘴をしていますので、すぐに分かるかと思います。

ご挨拶

八幡地区社会福祉協議会

会長 大塚 純一

八幡地区社協だよりの発行にあたり皆様にひと言ご挨拶申し上げます。

日頃より、八幡地区社協の社会福祉事業に、ご理解とご協力をたまわり誠にありがとうございます。

令和3年度の総会（評議員会）は、昨年度に引き続き「書面議決」という方式にて開催いたしました。

基礎的活動として重要な日々の活動である「小地域福祉ネットワーク活動」（安否確認活動・日常生活支援活動・心れあいいきいきサロン活動）を、厳しい社会環境の中でも福祉委員の皆様のお力により実施することができ感謝に堪えません。

「福祉委員全体研修会」は、『コロナ禍から見えてきた課題とコロナ後の地域社会はどうあるべきか』をテーマに、東北福祉大学の村山くみ先生に講師をお願いし、十月二十六日、十一月十七日の二回に分けて実施することができました。

また、昨年度より「新任福祉委員研修会」を開催し、福祉委員の役割、具体的な活動を学ぶことができました。来年度も予定しております。

福祉委員の皆様には日々コロナの感染予防に努めながら、無理をせず活動に従事していただきますようお願い申し上げます。

# 令和2年度 事業報告及び決算報告

総会（評議員会）にて承認された事業報告・決算報告は次のとおりです。

## 事業報告

### 【主催事業】

一、小地域福祉ネットワーク活動の実施

（一）安否確認活動

（二）日常生活支援活動

（三）ふれあいいきいきサロン活動

二、研修会の実施

（一）新任福祉委員研修会

・市社協青葉区事務所CSW

と当社協の役員が講師となつて今年度初めて実施

「福祉委員の役割について」

小地域福祉ネットワーク活動について」

※当初の計画では、研修会は「福祉委員全体研修会」を年間3回、他に「評議員・福祉委員移動研修会」を実施する予定であったが、コロナ禍の影響でやむなく中止とせざるを得なかった。

三、広報誌「八幡地区社協だより」第31号の発行  
・2回の予定が1回となったが、ページ数は8Pとした。

### 【共催事業】

一、地域とCSWの協働による課題解決推進地区設定による支援展開

二、第5次地域福祉活動計画策定に向けた住民座談会の開催

三、八幡「和」カフェの運営

四、八幡地区新年祝賀懇親会への参加

※十一回にわたり実施してきた尚絅学院生と地域高齢者との交流会は、学校側の都合により令和2年度より中止となりました。

【学校関係】

一、八幡白はとパトロール隊への参加

二、一中校区善導協力会への参加

三、三条中校区健全育成協会の参加

【講演会・研修会への参加】

一、八幡白はとパトロール隊への参加

二、一中校区善導協力会への参加

三、三条中校区健全育成協会の参加

【講演会・研修会への参加】

一、八幡白はとパトロール隊への参加

二、一中校区善導協力会への参加

三、三条中校区健全育成協会の参加

【講演会・研修会への参加】

一、八幡白はとパトロール隊への参加

二、一中校区善導協力会への参加

三、三条中校区健全育成協会の参加

## 社協の会費について

八幡地区社会福祉協議会は、地域福祉の中核として、地域住民が主体となり、住民自らの手で「福祉のまちづくり」を進めている任意の団体です。

八幡地区社協にとって、活動の財源である「会費収入」はきわめて重要かつ貴重な財源であり、会費の増収につきましてご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## ご存知でしたか？

八幡地区社会福祉協議会は、昭和43年（1968）10月29日設立です。

## 決算報告

| 《収入の部合計》    | 2,072,122 円 | 摘 要         |
|-------------|-------------|-------------|
| 前期繰越金       | 300,824     |             |
| 会費          | 945,400     |             |
| 普通会員        | (917,400)   | @300 円以上    |
| 特別会員        | (28,000)    | @1000 円以上   |
| 地区社協助成金     | 472,700     | 会費の 1/2     |
| ネットワーク活動助成金 | 353,194     | 小地域福祉ネットワーク |
| 諸収入         | 4           |             |
| 《支出の部合計》    | 1,333,820 円 | 摘 要         |
| 社協納付金       | 945,400     | 会費          |
| 事業費         | 166,828     |             |
| 運営事業費       | (92,299)    |             |
| ネットワーク関連事業費 | (53,779)    | 小地域福祉ネットワーク |
| サロン活動助成金    | (20,750)    | ふれあいいきいきサロン |
| 広報費         | 65,780      | 地区社協だより     |
| 助成金・負担金     | 100,000     |             |
| その他活動費      | 55,812      |             |

※総会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、書面議決とし、事業報告及び決算報告は賛成多数で承認されました。

# 令和3年度 事業計画及び予算

総会（評議員会）にて承認された事業計画・予算は次のとおりです。

## 事業計画

### 【主催事業】

一、小地域福祉ネットワーク活動の充実強化

（1）安否確認活動

（2）日常生活支援活動

（3）ふれあいいきいきサロン活動

二、研修会の充実

（1）新任福祉委員研修会

（2）福祉委員全体会研修会

・年間2回の開催

・市社協青葉区事務所CSWとの連携強化

・東北福祉大学村山ゼミとの連携強化

（3）評議員・福祉委員移動研修会

・石巻地方の大震災遺構

三、「（仮）ふれあいいきいきサロン」実施報告書一覧の作成

・過去におけるサロンの実施報告書「町内会別」にまとめて今後の参考とする。

四、広報誌「八幡地区社協だより」の発行

・年2回の発行

・福祉委員の声の反映

・各町内会の班内回覧

### 【共催事業】

一、東北福祉大学村山ゼミとの連携強化

二、八幡「和」カフェの運営

三、八幡地区新年祝賀懇親会

### 【学校関係】

一、八幡白はとパトロール隊への参加

二、一中校区善導協力会への参加

三、三条中校区健全育成協会の参加

四、八幡児童館運営懇談会への参加

【講演会・研修会への参加】

総会（評議員会）は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、書面議決とし、事業計画及び予算は賛成多数で承認されました。

## 予算

| 《収入の部合計》    | 2,410,000 円 | 摘 要         |
|-------------|-------------|-------------|
| 前期繰越金       | 738,302     |             |
| 会費          | 920,000     |             |
| 普通会員        | (900,000)   | @300 円以上    |
| 特別会員        | (20,000)    | @1000 円以上   |
| 地区社協助成金     | 460,000     | 会費の 1/2     |
| ネットワーク活動助成金 | 250,000     | 小地域福祉ネットワーク |
| 諸収入         | 41,698      |             |
| 《支出の部合計》    | 2,410,000 円 | 摘 要         |
| 社協納付金       | 920,000     | 会費          |
| 事業費         | 530,000     |             |
| 運営事業費       | (130,000)   |             |
| ネットワーク関連事業費 | (150,000)   | 小地域福祉ネットワーク |
| サロン活動助成金    | (250,000)   | ふれあいいきいきサロン |
| 広報費         | 150,000     | 地区社協だより     |
| 助成金・負担金     | 85,000      |             |
| その他活動費      | 725,000     |             |

※ CSW とは；コミュニティソーシャルワーカーの略称で、様々な社会資源を活かしながら、誰もが暮らしやすい地域づくりを。地域住民と一緒に推進する活動をしています。

### 社協の会費について

八幡地区社会福祉協議会は、地域福祉の中核として、地域住民が主体となり、住民自らの手で「福祉のまちづくり」を進めている任意の団体です。

八幡地区社協にとって、活動の財源である「会費収入」はきわめて重要かつ貴重な財源であり、会費の増収につきましてご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 福祉委員全体研修会

～コロナ禍以前のカタチを目標にしない～

Yes, You can.



10月26日



講師：村山くみ先生  
東北福祉大学総合  
福祉学部 福祉行政  
学科 講師  
市社会福祉審議会委  
員・市社協 青葉区社  
協委員としても活躍

## Challenge to Change “Chance”

昨年度はコロナ禍のために一度も開催できなかった福祉委員全体研修会ですが、今年度は福祉委員を南・北の二つのグループに分けて、同じ内容で十月二十六日（南）と十一月十七日（北）に開催することができました。

テーマは、『コロナ禍から見えてきた課題～コロナ後の地域福祉はどうあるべきか～』です。

新型コロナウイルスが感染拡大を繰り返し、肝心の評議員会（総会）も二年続けて開催出来なくなるといふ非常事態のなかで、沢山の人が集まる福祉委員の全体研修会も開催できずにいたところ、今年の夏以降第五波のコロナ禍も沈静化の兆しを見せ始めました。

そこで、秋以降の事業計画を再構築していく中で、地域での福祉活動の中心をなす福祉委員の活動の基礎となる「福祉委員全体研修会」を開催できないか、開催するとしたらどういう形で開催するべきか大いに悩みました。

その結果、コロナ前とコロナ後の地域における社会福祉はどうあるべきか、福祉が専門の大学の先生の話聞いてみんなど一緒に考えていきたいということで、研修のテーマを『コロナ禍から見えてきた課題～コロナ後の地域福祉はどうあるべきか～』とし、講師は事業計画でも連携をさらに深めていきたいとしている東北福祉大学の村山先生にお願いすることにしました。

開催にあたっては、3密を避けるため南と北の二つのグループに分けて、同じ内容の研修を実施することにしました。



11月17日

コロナ禍が蔓延していくにつれて、社会がどう変化していったか、外出・社会との関わり方の状況を見ていくと、①就労仕事・通院・買い物では減少幅が小さいのに対し、社会とのかわりを持つための外出機会（町内会活動や友人・親戚宅への訪問）は大幅に減少したままであること、②日常生活や仕事

、学校でのストレスはコロナ禍前よりも1・4倍になっていること、③楽しいと感じることが減った・外出する気持ちがなくなつたといった生活や外出に対するポジティブな感情が低下したこと、④他の人たちとの接点の減少が社会参加をためらう要因となっていること、⑤地域福祉活動やボランティア活動が休止せざるを得なくなつた結果、こうした活動に支えられてきた方々は参加の機会（居場所）を喪失することになり、心身の両面に悪影響を与えていること等があげられます。

以上のことから、コロナ禍による影響をまとめてみると、『マイナス面』では、①外出機会の減少による社会との関わりの低下・ストレス

Change

Challenge

## 変化への挑戦

Chance

## “好機”

の増加、フレイルの進行、②住民同士のつながりや支え合いの希薄化、③防災防犯面などへの影響、④地域活動の中止や延期の長期化による活動再開への意欲低減、『プラス面』では、①固定化した活動からの脱却（変化）、②新たな生活様式にみあった交流機会や方法、社会資源の創出（変化・挑戦）、③新たな参加者や活動者の発掘が考えられます。

これからの地域に求められること

3つのCH

Challenge to Change = Chance

「コロナ禍以前のカタチを

目標としない」

Q & A

Q…人とのつながりを嫌がる独居老人と接点を持てるようになるには？

A…見守っているよ、心配しているよというメッセージを発信し続ける。

Q…普通の人も活動できるように情報等を開示すべきではないか？

A…専門家と地域の人が話し合える場を持つこと、近隣の人間としての目が必要では。

《アンケートから》カタチにこだわら過ぎないという考え方に共感。気にしているよとの思いは伝えられる。これは高齢者、子育て世代、子どもにも通じることと思う。

## 新任福祉委員研修会



（黒田地域福祉活動推進員をメイン講師として、こじんまりと和気藹々のうちに終了）

令和3年10月14日に、第2回目となる「新任福祉委員研修会」を開催しました。

新任福祉委員研修会は、福祉委員の全体研修会のアンケートに、新しく福祉委員となった方々を対象に研修会を開催してほしいという要望があり、昨年度から開催することになったものです。

最初の年は、市社協青葉区事務所のCSWである石野主任をメインの講師としましたが、今年度は当八幡社協の黒田地域福祉活動推進員を中心に役員が講師を務めました。

研修は、地区社協の代表的な活動である「小地域福祉ネットワーク活動」を中心に、基礎的活動の安否確認活動や生活

支援活動のサロン活動や日常生活支援活動について、それぞれ生活支援コーディネーターの本木、サロンコーディネーターの八木より、具体的に使用している帳票をもとに説明しました。

”福祉委員”とは、実際に地域において社会福祉活動を地道に行う人であり、活動に当たっては、自分のできる範囲で、近隣の要援護者に対する見守り、声掛けやちょっとしたお手伝いをしたり、サロン活動にも参画したりするという地域福祉活動にはなくてはならない重要な役割をもっている人たちです。

福祉委員の役割としては、①みつめる（見守り・声掛け）②しらせる（専門機関へ連絡）③つなげる（サロン等の活動ひ

に協力・参加）④ひろめる（福祉情報の提供・福祉意識の啓発）があげられます。

※なお、八幡社協としては研修対象者が1名でも新任福祉委員研修会を開催する予定です。

（左から本木生活支援コーディネーター、八木サロンコーディネーター、佐藤会計）



令和３年度 小地域福祉ネットワーク活動を行っている  
町内会と町内会長及び担当民生委員と福祉委員のみなさん

(敬称：略)

| No | 町内会名           | 町内会長  | 町内に関わる<br>民生委員 | 小地域福祉ネットワーク活動<br>福祉委員              |
|----|----------------|-------|----------------|------------------------------------|
| 1  | 中島丁町内会         | 川上 良雄 | 玉生 照明<br>澁谷 善功 | ○玉生照明 澁谷善功 川上良雄<br>熊谷美紀子 澁谷三心子     |
| 2  | 十二軒丁親交会        | 山崎 光男 | 平田 明           | ○山崎光男 阿部芳子 平田明                     |
| 3  | 八幡第四区町内会       | 佐藤 典夫 | 柴崎亜紀子          | ○大平理智子 佐藤典夫<br>早坂和子 佐藤怜子           |
| 4  | 北三土橋共栄会        | 水本 洋一 | 遠藤 弘子          | ○水本洋一 高橋孝士 山内一弘                    |
| 5  | 澱町むつみ会         | 遠藤 光男 | 遠藤 弘子          | ○佐々木和恵 遠藤光男                        |
| 6  | 広瀬町親和会         | 遠藤 貞雄 | 遠藤 弘子          | ○遠藤貞雄 遠藤弘子                         |
| 7  | 角五郎南部町内会       | 中村 悟  | 高橋 新一          | ○加川絹子 秋元洋子 中村悟<br>高橋新一             |
| 8  | 角五郎丁北部町内会      | 加藤 達也 | 加藤 達也<br>本木 京子 | ○望月博子 松木美津江 加藤達也<br>本木京子           |
| 9  | セブンスター町内会      | 伊藤 健一 | 加藤 達也          | ○野家志津子 伊藤健一                        |
| 10 | 角新会            | 大友 幸一 | 黒田スミ子          | ○大友幸一 黒田スミ子 飯田茂子<br>熊谷幸子 大友まさ子     |
| 11 | 北五十人町地区町友会     | 後藤 潮  | 佐藤 祥子<br>高橋 吉雄 | ○高橋吉雄 後藤潮 後藤克子<br>女川 尚子 佐藤郁 佐藤祥子   |
| 12 | CI マンション中島丁町内会 | 中村 一成 | 玉生 照明          | ○中村一成                              |
| 13 | 石切町町内会         | 岩井 和子 | 小野寺 敏          | ○小野寺淳子 岩井和子 小梨貞子<br>原田晴彦 小野寺敏 能嶋恵子 |
| 14 | 覚性院丁町内会        | 河野 好郎 | 津田 京子          | ○河野好郎 北村佳信 津田京子<br>最上俊介            |
| 15 | 八幡第五区町内会       | 森 和男  | 柴崎亜紀子          | ○森和男 森洋子 山田浩之<br>柴崎亜紀子             |
| 16 | 八幡第二区八幡会       | 佐藤 信一 | 三浦 悦子          | ○増田多恵子 三浦悦子                        |
| 17 | 八幡第三区親睦会       | 槻田 一彦 | 三浦 悦子          | ○江刺紘子 早坂洋子                         |
| 18 | 江戸町好江会         | 鈴木 彰  | 小野寺チヨ子         | ○遠藤秀男 鈴木彰 小野寺チヨ子                   |
| 19 | 大崎東部親交会        | 佐藤 隆雄 | 松本 隆<br>佐藤とも子  | ○佐藤とも子 佐藤郁子 寺田佐和<br>大友絢子 佐藤隆雄 小嶋時子 |
| 20 | 大崎西部町内会        | 大塚 純一 | 大塚由紀子          | ○大塚純一 大塚由紀子 鈴木弘子<br>室月都子           |
| 21 | 土橋通中部町内会       | 阿部 忠  | 橋本美智子          | ○橋本美智子 阿部忠 鈴木幸子<br>阿部まり子 佐藤勝子      |
| 22 | 北六住民会          | 江尻 正子 | 橋本美智子          | ○江尻正子                              |
| 23 | 土橋通北部親睦会       | 阿部 俊昭 | 赤間 浩子          | ○高橋龍太郎 高橋睦子 赤間浩子<br>櫻井由美子          |
| 24 | 北六西部町内会        | 今野理一郎 | 木村 洋子          | ○今野理一郎 木村洋子                        |
| 25 | 西部北七町内会        | 川上 良明 | 佐藤祐見子          | ○川上良明 佐藤祐見子 伊澤睦子                   |
| 26 | 北八中部親和会        | 八木 和彦 | 八木 康子<br>関口 恵子 | ○八木和彦 八木康子 関口恵子                    |
| 27 | 北八西部親交会        | 岩井 幹雄 | 山田久美子          | ○岩井幹雄 桑原正明 山田久美子                   |
| 28 | 柏木町内会          | 柴田まゆみ | 柴田まゆみ          | ○柴田まゆみ 杉村のり子                       |
| 29 | 新坂通西部町内会       | 菊地 精一 | 菊地 繁子<br>二科みさ子 | ○菊地精一 菊地繁子 二科みさ子<br>柴田睦子           |

※令和３年６月現在です。

# 令和3年度 町内会別社会福祉協議会 会費納入一覧

| 町内会名            | 金額(円)  | 町内会名        | 金額(円)   |
|-----------------|--------|-------------|---------|
| 中島丁町内会          | 70,000 | 大崎東部親交会     | 58,800  |
| 十二軒丁親交会         | 39,000 | 大崎西部親交会     | 36,000  |
| 八幡第四区町内会        | 24,000 | 土橋通中部町内会    | 30,000  |
| 北三土橋共栄会         | 30,000 | 土橋通北部親睦会    | 21,900  |
| 澱町むつみ会          | 14,500 | 北六住民会       | 8,000   |
| 広瀬町親和会          | 3,700  | 北六西部町内会     | 36,300  |
| 角五郎南部町内会        | 7,800  | 西部北七町内会     | 42,900  |
| 角五郎丁北部町内会       | 75,000 | 北八中部親和会     | 66,500  |
| 角新会             | 36,900 | 北八西部親交会     | 36,000  |
| 北五十人町地区町友会      | 43,500 | 柏木町内会       | 36,000  |
| セブンスター町内会       | 24,000 | 新坂町西部町内会    | 18,900  |
| C.I マンション中島丁町内会 | 14,400 | 柏木西部自治会 A 棟 | 5,000   |
| 石切町町内会          | 24,000 | 柏木西部自治会 B 棟 | 5,000   |
| 覚性院丁町内会         | 6,000  | 伊勢堂下町内会     | 18,600  |
| 八幡第五区町内会        | 30,000 | コープ野村中島丁自治会 | 14,100  |
| 八幡第二区八幡会        | 12,000 | 角五郎警察第二宿舍   | 3,000   |
| 八幡町第三区親睦会       | 30,000 |             |         |
| 江戸町好江会          | 21,000 |             |         |
|                 |        | 合 計         | 942,800 |

※《八幡地区募金会からのお知らせ》  
令和3年度の共同募金総額は、九十万八千九十九円でした。  
ご協力ありがとうございました。

## 市社協青葉区事務所より

### 八幡地区のみなさまへ

八幡地区のみなさまにおかれましては、日々地域福祉活動にご支援ご協力をたまわり、この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

一昨年からの新型コロナウイルス感染症の拡大で、さまざまな活動が休止を余儀なくされている中、これまで育んできた住民同士での見守りや声かけ、助け合い、集いの場の開催などの「小地域福祉ネットワーク活動」につきましても、当分無理のない範囲で活動していかねればならない時期が続くと思われます。

八幡地区社協では、3蜜を避けるため福祉委員全体研修会を2回に分けて開催したり、過去のふれあい・いきいきサロンの実施報告書をまとめ、情報を福祉委員のみなさまと共有したりする等活动が制限されている中でも工夫した取り組みが続けられています。

市社協青葉区事務所では、今後とも地域のみなさまと一緒に、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めてまいりますので、地域福祉活動に関する相談や暮らしの困りごとの相談等お気軽にお問合せください。

【問合先】仙台市社会福祉協議会青葉区事務所  
青葉区二日町4-3 仙台市役所二日町分庁舎一階  
☎265-5260 (担当・石野)

## 編集後記

当協議会の活動等をお知らせしてご理解いただき、ともに地域社会福祉の増進のために活動していく大切な媒体である「八幡社協だより」ですが、平成30年度からは年2回の発行へと切り替えたのにもかかわらず、令和に入ってから1回の発行となっていることを反省し、お詫び申し上げます。

地区社協の活動の中心は何と言っても地域にお住いの福祉委員のみなさまの日常の活動であり、その活動を充実させていくための福祉委員の全体研修会は非常に重要であると認識していますが、新型コロナウイルスの感染拡大の中、やむを得ず人数を制限し、2回に分け開催しました。

その代わりといったら何ですが、ふれあい・いきいきサロンの実績を年度別と町内会別に集計することができました。大いに活用していただければ幸いです。

編集委員  
大塚純一・黒田スミ子・高橋新一